第３回 函館市地域福祉計画策定委員会	
H25. 11. 29（金）	資料 ２

第２次函館市地域福祉計画の取組み状況

１　地域での支援体制の構築

「私達ができること」	「地域福祉に関する意識調査」結果
地域でできることは地域で担うという考え方で，地域福祉に取り組む。	問11 P9 「共に支え合う社会」づくりについて「地域における支え合いは必要であり，今後も充実させるべきだと思う」と回答した人は74.6%，「現在の自分には必要ないが，大切なことだと思う」と回答した人は15.3%であった。
声かけ等による近隣との日常的なつながりのなかで，福祉サービスを必要とする人がいれば関係機関に相談，連絡する。	問13 P10 隣近所の人への手助け等のなかで，救急車の要請，スズメバチ等の情報共有との回答があった。
地域の福祉に関心を持ち，自分の知識や経験を生かしつつ，できることから活動に参加していく。	問21 P19 ボランティア活動について「現在活動している」と回答した人は 57.2%，「以前活動していたが，現在はやめている」と回答した人は17.8%，「今まで活動したことはない」と回答した人は22.2%であった。 問22 P22 現在，地域活動団体に参加している，または過去に参加した経験があると回答した人は85.9%で，参加したことがないと回答した人は10.8%であった。 問23 P22 何らかの地域活動に参加していると回答した人は75.8%で，参加したことがないと回答した人は21.6%であった。

2　住民参加・人材育成の促進

「私達ができること」	「地域福祉に関する意識調査」結果
地域の福祉に関心を持ち，自分の知識や経験を生かしつつ，できることから活動に参加していく。 近隣での交流を図り，見守りや助け合いを推進する。	問11　P9 「共に支え合う社会」づくりについて「地域における支え合いは必要であり，今後も充実させるべきだと思う」と回答した人は74.6%，「現在の自分には必要ないが，大切なことだと思う」と回答した人は15.3%であった。 問12　P10 自分の住んでいる地域で，近所の人同士の「支え合い」について「感じられる」と回答した人は30.0%，「どちらかといえば感じられる」と回答した人は41.2%であった。 問13　P10 隣近所の人に，何らかの手助け等をしたことがあると回答した人は78.4%であった。 一方，隣近所の人に「手助けや手伝いをしたことがない」と回答した人は18.4%であった。 問14　P12 隣近所の人から，何らかの手助け等をしてもらったことがある，あるいは，してもらいたいと回答した人は64.7%であった。 一方，隣近所の人から，「手助けや手伝いをしてもらったことがない，あるいは，してもらいたくない」と回答した人は22.3%であった。 問21　P19 ボランティア活動について「現在活動している」と回答した人は 57.2%，「以前活動していたが，現在はやめている」と回答した人は17.8%，「今まで活動したことはない」と回答した人は22.2%であった。 問23　P22 何らかの地域活動に参加していると回答した人は75.8%で，参加したことがないと回答した人は21.6%であった。
一人では地域活動に参加したがらない人がいるときには，積極的に声をかけ，誘い合う。	問23－3　P24 地域福祉活動に参加した理由として「友人，知人に誘われたから」と回答した人は12.9%であった。

３　活動団体の連携体制の整備

「私達ができること」	「地域福祉に関する意識調査」結果
さまざまな団体の活動に関心を持ち，自らが行っている活動の情報については，積極的に提供する。	問22　P22 現在，地域活動団体に参加している，または過去に参加した経験があると回答した人は85.9%で，参加したことがないと回答した人は10.8%であった。 問24　P26 地域活動のためには，活動団体同士のネットワークをつくり，知識や情報を共有することが重要であるとし，何らかの団体と連携することが望ましいと回答した人は91.5%であった。

４　情報の共有化の促進

「私達ができること」	「地域福祉に関する意識調査」結果
声かけ等による近隣との日常的なつながりのなかで，福祉サービスを必要とする人がいれば関係機関に相談，連絡する。	問13　P10 隣近所の人への手助け等のなかで，救急車の要請，スズメバチ等の情報共有との回答があった。
プライバシーに関する正しい知識を習得し，過敏になりすぎない。	問10　P8 近所の人との付き合い方で「相談ごとがあった時，相談したり，相談されたりする」と回答した人は 36.9%，「病気の時に助け合う」と回答した人は11.1%であった。 問13　P10 隣近所の人へ手助け等をしたことがあることのうち「高齢者や障がいのある人などの日常生活における見守り・安否確認」と回答した人は 59.0%，「悩みごとや心配ごとの相談」と回答した人は34.0%であった。 問14　P12 隣近所の人から手助け等をしてもらったことがある，あるいは，してもらいたいものとして「高齢者や障がいのある人などの日常生活における見守り・安否確認」と回答した人は27.7%，「悩みごとや心配ごとの相談」と回答した人は14.4%あった。

５　地域資源の活用

「私達ができること」	「地域福祉に関する意識調査」結果
地域の福祉に関心を持ち，自分の知識や経験を生かしつつ，できることから活動に参加していく。	問13　P10 隣近所の人に，何らかの手助け等をしたことがあると回答した人は78.4%であった。 一方，隣近所の人に「手助けや手伝いをしたことがない」と回答した人は18.4%であった。 問14　P12 隣近所の人から，何らかの手助け等をしてもらったことがある，あるいは，してもらいたいと回答した人は64.7%であった。 一方，隣近所の人から「手助けや手伝いをしてもらったことがない，あるいは，してもらいたくない」と回答した人は22.3%であった。 問21　P19 ボランティア活動について「現在活動している」と回答した人は 57.2%，「以前活動していたが，現在はやめている」と回答した人は17.8%，「今まで活動したことはない」と回答した人は22.2%であった。 問22　P22 現在，地域活動団体に参加している，または過去に参加した経験があると回答した人は85.9%で，参加したことがないと回答した人は10.8%であった。 問23　P22 何らかの地域活動に参加していると回答した人は75.8%で，参加したことがないと回答した人は21.6%であった。
ボランティア活動等の場として，空き店舗などの活用方法を検討する。	問33（意見・要望の抜粋）　P41～ 町会事務所を，今の時代にあった活用にできたらと思う。行事やイベント等だけでなく，足を運ぼうと出来ない人，地域に取り残されている人，子育て育児に悩みひとりで抱え込んでいる人，誰にも相談できず孤独な人，助けを求めたくとも求めれない人，地域で何ができるか？どうできるか？考えていくことが大切と思う。
	問17　問17－1　P15 家族や親族以外で福祉について地域で相談できる人がいると回答した人は79.4%で，そのうち相談先として回答が多かったのは「仲の良い友人・知人」（50.3%），「民生委員・児童委員」（41.0%），「地域包括支援センター」（39.0%），「行政（市役所）」（30.6%）であった。

６　意識の醸成

「私達ができること」	「地域福祉に関する意識調査」結果
福祉を特定の人だけのものではなく，自分もいつかは関わる問題としてとらえる。	問25　P27 地域福祉を充実させていく上で，行政と地域住民の関係については「行政だけでなく，地域住民も積極的に取り組むべきだと思う」（66.5%）が最も多く，以下「家庭や地域で助け合いができない場合に限って，行政が支援すべきだと思う」(14.8%)，「行政ができない場合に限って，地域住民も協力していくべきだと思う」(9.2%)，「行政の責任であり，地域住民が協力する必要はないと思う」(3.0%）であった。
地域の福祉に関心を持ち，自分の知識や経験を生かしつつ，できることから活動に参加していく。	問13　P10 隣近所の人に，何らかの手助け等をしたことがあると回答した人は78.4%であった。 一方，隣近所の人に「手助けや手伝いをしたことがない」と回答した人は18.4%であった。 問14　P12 隣近所の人から，何らかの手助け等をしてもらったことがある，あるいは，してもらいたいと回答した人は64.7%であった。 一方，隣近所の人から「手助けや手伝いをしてもらったことがない，あるいは，してもらいたくない」と回答した人は22.3%であった。 問21　P19 ボランティア活動について「現在活動している」と回答した人は 57.2%，「以前活動していたが，現在はやめている」と回答した人は17.8%，「今まで活動したことはない」と回答した人は22.2%であった。 問22　P22 現在，地域活動団体に参加している，または過去に参加した経験があると回答した人は85.9%で，参加したことがないと回答した人は10.8%であった。 問23　P22 何らかの地域活動に参加していると回答した人は75.8%で，参加したことがないと回答した人は21.6%であった。

６　意識の醸成

「私達ができること」	「地域福祉に関する意識調査」結果
普段から何でも話し合える仲間や友達をつくり交流を深める。	問10　P8 近所の人との付き合い方で「相談ごとがあった時，相談したり，相談されたりする」と回答した人は 36.9%，「病気の時に助け合う」と回答した人は11.1%であった。
自らの生きがいづくりとして地域活動に参加してみる。 各種の交流会や学習会に積極的に参加し，知識の習得に努める。	問23－3　P24 地域活動に参加した一番の理由として，多い順から「身近な地域をより住みやすいものにしたかったから」(56.4%)，「友人，知人に誘われたから」(12.9%)，「自分の経験や知識を活かしたかったから」(10.5%)，「生活にはりを持たせたかったから」(8.8%) であった。
地域での子育てやボランティアグループの活動などについて関心を持つ。	問21－3　P21 ボランティア活動をしたことがない理由として「興味・関心がない」と回答した人は6.2%であった。
	問33（意見・要望の抜粋）　P41～ ・福祉に対する理解を深め，地域での活動，隣近所との交流等，一人一人が積極的に行動を起こし，足りない部分を行政に依頼出来る，また，解決して対応してもらえる体制を作って行くことが望ましいと思います。 ・今まで地域福祉という言葉すら聞いたことがないように思います。福祉に対する理解を深め，地域での活動に積極的に参加するなど協力していく姿勢が必要と思いました。 ・行政の動きを待つだけではなく，自分たちで行動に移していくことが重要だと思う。そして，行政と地域住民が互いに協力し合って，活動，支援を行っていけるような社会になれば良いのではないかと考える。